

令和2年度 第3回 神栖市水道事業料金等検討協議会 会議録（要旨）

期日 令和3年1月26日（火）

場所 神栖市役所分庁舎 二階 会議室1

時間 午後2時～午後3時

○協議事項

神栖市水道事業料金等の検討について

○出席委員 12名中12名

○説明のために出席したもの

水道課長	太田正明（事務局）
水道課長補佐	大竹栄治（事務局）
水道課長補佐	藤邨絢子（事務局）
水道課主査	久保木サト子（事務局）
水道課主事	大川杏奈（事務局）

○傍聴人 無し

1 開会

（司会進行 事務局・太田水道課長）

2 会長あいさつ

3 議事

案件1

神栖市水道事業の健全な運営と整備の推進に関する意見書の審議

（吉川会長）

「神栖市水道事業の健全な運営と整備の推進に関する意見書（案）」の審議を行います。
事務局から説明願います。

説明

（事務局）

一つ目が、「神栖市水道事業の健全な運営等整備に関する意見書（案）」でございます。

意見書の題名は「神栖市水道事業の健全な運営と整備に関する意見書」とさせていただいております。これは、協議会の趣旨として、水道事業の健全な運営をご協議いただき、改訂ありきにならないようこちらでつけさせていただきました。なお、こちらは前回の27年度の意見書の題名と同一でございます。意見書の内容とともに、ご審議いただければと思います。

次に、前回藤田委員様より質問のありました、水道水の水質に関しまして資料をお配りしております。

- ・水質検査に関する資料について説明。

次に意見書（案）について、朗読させていただきます。

- ・意見書朗読
- ・追加説明事項

（旧土合配水場の解体について）

水道ビジョンの56ページ表6-2施設・設備の更新スケジュール土合配水場について令和3年度に休止施設解体と記載しています。休止施設は、減価償却費が3000万円ほど残っておりまして、3000万円の費用化と解体撤去工事費が1億円ほどかかります。こちらを減価償却費が終わる令和18年度まで、安全であれば先送りするという計画変更をさせていただきました。

（財政シミュレーションについて）

「神栖市水道事業財政シミュレーションについて」ケースC-4を採用したいと考えております。一般会計補助金1.5億円、出資金は設備改良費の3分の1をいただくという形でやっていくという計画になります。このシミュレーションですと、令和6年度まで料金改定を先送りできる見込みになっております。水道ビジョンは平成29年度に策定しておりまして、計画期間は10年で5年をめどに見直した方がいいという見解がありますので、令和4年度から令和5年度には水道ビジョンを見直して、経営戦略も定期的に見直していくということでご理解いただければと思います。事務局からの説明は以上でございます。

（吉川会長）

説明が終了いたしましたので、配布資料の「神栖市水道事業の健全な運営と整備に関する意見書（案）」について、ご意見がございましたらお願いいたします。まず、題名でございますが、この「神栖市水道事業の健全な運営と整備に関する意見書（案）」ということで、いかがでございましょうか。

（委員一同）

異議なし。

(吉川会長)

異議なしの声がございましたけども、他に意見がなければ。それでは他に意見がないようでございますので、お諮りいたします。ただいまの「神栖市水道事業の健全な運営と整備に関する意見書(案)」について、テーマの方はそのままの形でよろしいでしょうか。異議がないようですので「神栖市水道事業の健全な運営と整備に関する意見書(案)」の(案)を消していただきます。また、他に意見でございますが、ただいまの「神栖市水道事業の健全な運営と整備に関する意見書」について、事務局の説明内容でよろしいでしょうか。何か意見がございましたらお願いいたします。

(藤田委員)

大口需要者への調査等を行い、工業用水や地下水から水道水への転換していただけるような料金体系っていうことを検討するとされてるんですけど、実行するにあたってですね、多分各企業は現状の配水の施設とかそういうところにも手を入れなきゃいけないのかなど。そちらの方の補助金とか、そういうのもないとなかなか厳しいんじゃないかと。その辺も検討していただければ。

(事務局)

分かりました。それは、工業用水とか地下水を綺麗にする設備投資をしているからということですよ。

(藤田委員)

既存だと使用用途はかなり限られていて、専用のラインを使っていて、水道水とは完全にわかれてると。そういうようなところが企業だとあると思います。

(事務局)

企業の意見として水道水が安ければ水道水に転換したいというお考えはございますか。

(藤田委員)

波崎連のところは何件か聞いたんですけども、やはりちょっと弊社(沢井製薬)と同じように経路が変わってるんで、よっぽどメリットがないと変えにくいっていう意見が多かったです。

(事務局)

分かりました。あまり変えていただける企業の方が少なければ改定しても、企業の方を減免した分は家庭用で負担することになります。求める収益は同じですので、企業の方を安くすれば家庭用の方の負担が大きくなりますので、やはり調査が必要だと思っております。

す。あまり転換の見込みがなければ、いたずらに家庭用の水道料金を高くするのはよくないと思っておりますので、まずは調査をさせていただきたいと思っております。あと、他の企業の方はどうでしょうか。

(松崎委員)

鹿島東部コンビナートの鹿島石油です。当社もですね、工業用水を飲料水に変える施設を現状持っています。今、藤田さんから話があったとおり、やはりよほどのメリットがない限り企業としては無碍にといいますか、ただ単純にご協力するというところはちょっと難しいかなということがあります。あと企業さんがどれだけ使われてるかっていうことで、そこでの差もあると思います。メリットが幅が大きかったり小さかったりしますんで、その辺はやっぱり一度調査した上で検討していただいた方がよろしいかと思えます。

(梶原委員)

西部連の日本アルコール産業なんですけども、今いただいた意見と同じですね。やはり、使用することについてはメリットがないと。料金もなんですけども。水質云々というところもあると思うんですけど、その辺調査をしていただいてっていうところからになるかなと。

(事務局)

企業の皆さんにおかれましては、既に設備投資をしている中で、新たな水道水の切り換えということになりますと、設備投資をまたしなければいけない。それを回収できるメリットがなければ、なかなか転換は難しいということだとわかりました。では、料金改定する際には、調査を行いながらやっていきたいと思っております。ありがとうございました。

(花田委員)

意見書の内容としては、概ね穏当な形になってるのかなと思います。ただ、いつもこの水の話になってきますと思ひ出すんですが、湯水のように使うということわざがありましたけれども、もう何十年も前から湯水のように使うという意味合いってものが違ってきてると。ところがまだ我々の世代ですと、昔のような理解の仕方がどっかに残っていて、水道料金というものの値上げというものに対して、なんていうか抵抗感みたいのがあるところも事実かと思えます。今後、その辺の何ものにも勝る健康を維持していくために、PRという市民に理解してもらいながらですね、適当な時期に適当な値上げが必要かなと思えます。以上です。

(太田委員)

水道料金の検討とはちょっと違うんですけれども、一般常識として知っておきたいんですけれども、神栖市の水道の普及率はどのくらいなのでしょう。あと、他市町村と比べて低いのでしょうか、高いのでしょうか。お尋ねいたします。

(事務局)

神栖市の普及率は令和元年度末で92.89%でございます。近隣鹿行5市の中では、高い方でございます。

(菅谷委員)

神栖市水道事業料金等検討協議会の資料なんですけども、この一番最後にこれまでの経営努力ってこう書いてあったんですけども、今はご存知のようにインフラのデジタル化もできるみたいですし、インフラのデジタル化ということで、これまでの経営努力とこれはこれで良いのかもしれませんが、今後違った経営のやり方、例えば保守管理の自動化とか、要するに需要データを使って実際の効率的な運用を可能にするとか、そういうお考えとか、まだそこまでは至ってないですかね。これまでの経営努力っていうより、これからの経営努力ってことでプラスアルファで何かあればとも思うんですけども。特にありませんかね。

(事務局)

水道管路のデジタル化を進めておまして、今度入札をかけて水道管路のデジタル化をさらに進めていきたいと考えているところもございます。また、配水場の設備に関しましても、今は平面図等については紙の資料となっておりますが、これを電子化して維持管理していきたいと考えているところもございます。先進の事業体ですと、量水器をデジタル化して、検針に行かなくても水量がわかるというようなところもございます。全体に普及するには時間がかかると思っております。

(石神委員)

値上げといいますか料金引き上げについては、このような案で結構かなというふうに思います。それで、見直しを平成27年に見直しをやった以降今黒字が続いているというようなことをお聞きしまして、管の耐震化のための布設替工事ですかね、それが年間8億程度の形で進められてるというようなこととございます。基本的には、市の方からの繰り入れが前提になるかとは思いますが、2011年の大震災の時には旧神栖地区の方においては非常に苦しい思いをしたという経緯がありますので、やっぱりこれを、できる時っていいですか黒字のときになるべく多く進めていただくような形で、いつでも安全だというようなそういう担保が欲しいかなというふうに思うんですよね。ですから直接的に確かに収入

増加には結びつかないものであろうとは思いますが、その辺のところはやっぱり前回の時には、水と電気は非常に大切なものだとことを痛感しましたので、ぜひ力を入れていただければというふうに思います。

(事務局)

ありがとうございます。もしもの時の対応といたしまして、令和2年度に加圧式の給水車を1台購入する予算を計上いたしました。

(吉川会長)

いろいろ貴重なご意見ありがとうございます。それではほかにご意見がないようですので、お諮りいたします。ただいまの「神栖市水道事業の健全な運営と整備に関する意見書」についての事務局の説明の内容でよろしいでございましょうか。

(委員一同)

異議なし。

(吉川会長)

はい。異議がないようですので、事務局の説明内容で決定させていただきます。「神栖市水道事業の健全な運営と整備に関する意見書」、これについては事務局で製本していただきますが、軽微な文言等の修正が生じた場合には、会長及び副会長に一任させていただいてよろしいでしょうか。

(委員一同)

異議なし。

(吉川会長)

以上をもちまして、本日の案件はすべて終了いたしました。3回にわたり皆さんの真摯なご審議、ご意見をいただきまして、本当にありがとうございました。ご苦労様でした。